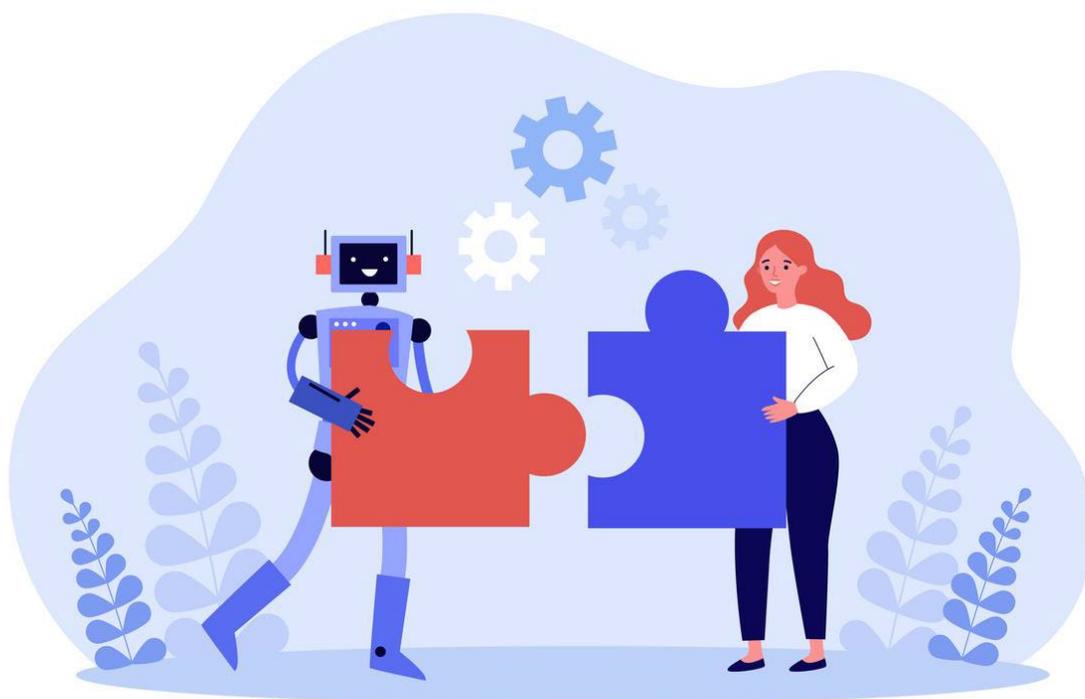


各 位

2022年6月16日
SBINFT 株式会社

NFTの真贋判定技術を研究、AIを応用しブロックチェーンの課題解決を目指す
～AIを用いた真贋判定技術の研究開発を行い、公益に資するNFT技術の発展へ寄与～

パブリックチェーンによるNFTマーケットプレイスを運営するSBINFT株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：高長徳）は、2022年5月より、ブロックチェーンとAI（Artificial Intelligence:人工知能）を用いた技術の研究開発を行うことを発表します。



■現在のブロックチェーンの課題

ブロックチェーン技術は、近年金融やエンターテインメントなどの事業領域で利用が進み、一般利用者もWEBアプリケーションやモバイルアプリケーションを通じてブロックチェーンに触れる機会が増えていることから、社会的な需要が拡大しています。

ブロックチェーンに関連するアプリケーションは、主に取引データがブロックチェーン上で保存される「オンチェーンデータ」と、取引がブロックチェーン外のデータベース等で保存される「オフチェーンデータ」に分類されます。

オンチェーンでデータを記録することの利点は「対改竄性のある分散型台帳上のデータ」として保存可能な点が挙げられます。その一方で現在の課題としては、保存領域にデータを書き込む際に法的なデータ判定ができず、他者の権利を侵害した NFT データの流通などが起きてしまっている点が挙げられます。

■課題解決のため、AI の仕組みと NFT の特性を生かした技術を研究

現在のブロックチェーンの課題解決と新たなテクノロジーの発展に寄与するため、ブロックチェーンデータの真贋判定に AI を用いた技術の開発を開始します。
本研究開発では以下の取り組みを行う予定です。

1. ブロックチェーンと AI を掛け合わせた、精度の高い半自動的な真贋判定技術の開発
2. 画像類似度とウォレットの仕組みを連携させたマーケティング応用のシステム開発
3. 将来的な分散型金融の発展を見据えた新規技術の研究

現在ブロックチェーン技術は金融やエンターテインメント領域を中心に発展を続けていることから、これらの領域の先行事例を研究し、安定的に安心して利用できる技術の発展を支援するために、研究開発に取り組んで参ります。

【SBINFT 株式会社】

パブリックチェーンによる NFT マーケットプレイスを運営する SBINFT 株式会社は、DAO（非中央集権）化されたエコシステムの構築を掲げ、NFT マーケットプレイスを中心とするビジネスモデルに留まらず、Web3.0 を牽引するような新規ビジネス創出を目指し、ブロックチェーンなどの先進技術の活用や外部パートナーとの連携強化を図っています。

会社名：SBINFT 株式会社

所在地：東京都港区六本木一丁目 6 番 1 号 泉ガーデンタワー

代表者：代表取締役 高長徳

取引銀行：住信 SBI ネット銀行、三菱東京 UFJ 銀行、みずほ銀行

加盟団体：日本ブロックチェーン協会（JBA）、ブロックチェーン推進協会（BCCC）

コーポレートサイト URL：<https://sbinft.co.jp/>

=====

（メディア関係者向けの情報）

【お問い合わせ先】

SBINFT 株式会社 Mail：contact@sbinft.co.jp